

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域

地域のヒト・モノ・カネ・エネルギーを 脱温暖化につなぐ

第2回
シンポジウム

■ 日 時：平成**22**年**4**月**23**日(金)
10:00~18:00

■ 場 所：ベルサール西新宿 1F Hall
(東京都新宿区西新宿4-15-3 住友不動産西新宿ビル3号館)

■ 定 員：180名 ■ 参加費：無料

■ 申込・詳細：<http://www.ristex.jp/env/O4meeting/sympo2/index.html>

YOKOVISION
for Collaborative -80% Actions



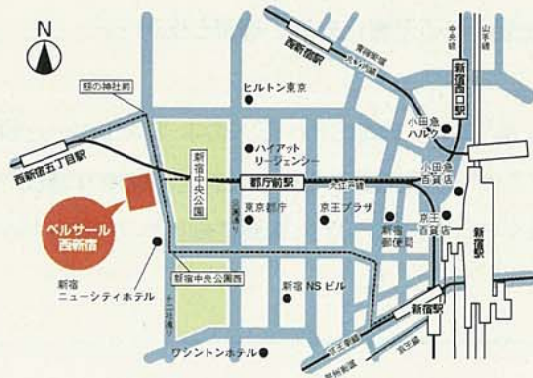
地球規模の環境問題は、石油依存型近代化の急展開がもたらした、現代文明社会の本質に関わる問題です。本研究開発領域は、温室効果ガス排出量60-80%削減の道筋を「近代の作り直し」の視点から構築することを目標に掲げ、定量性のある取り組みを募集してきました。これまでの縦割りのな枠組みから脱却し、過疎化、雇用危機、燃料価格乱高下、生物多様性の喪失などの問題と連動させたヨコグシ的対策の検討を促し、柔軟な社会技術的アプローチによる、現実的効果のある温暖化対策の構築と検討を行うことに主眼があります。

今回のシンポジウムでは、このような領域の考え方に基づいて、地域のヒト・モノ・カネ・エネルギーを脱温暖化につなぐ、豊かで持続的な地域社会を実現するために、最先端の情報の共有と有意義な議論を目指します。また、当領域では平成22年度に最後の公募を行う予定ですので、募集に向けたメッセージを発信します。

第2回
シンポジウム

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域
「地域のヒト・モノ・カネ・エネルギーを脱温暖化につなぐ」

午前の部	10:00~10:10	開会挨拶 篠崎 資志 <(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター企画運営室長>
	10:10~11:00	講演 「地域のヒト・モノ・カネ・エネルギーを脱温暖化につなぐ ~平成22年度領域公募のメッセージ」 堀尾 正毅 <領域総括・東京農工大学名誉教授>
	11:00~11:50	基調講演1 「生産者と消費者を脱温暖化に向けてつなぐために」 永田 潤子 <大阪市立大学大学院創造都市研究科 准教授>
	11:50~12:45	休憩
	12:45~13:45	ポスターセッション (当領域採択プロジェクト)
午後の部	13:45~14:35	基調講演2 「農山村再生の課題—人々でにぎわう地域に向けて—」 小田切 徳美 <明治大学農学部食料環境政策学科 教授>
	14:35~14:50	ポスターセッション講評 川村 健一 <領域アドバイザー・広島経済大学 教授>
	14:50~15:10	休憩
	15:10~17:50	パネルディスカッション 「地域のヒト・モノ・カネ・エネルギーを脱温暖化につなぐ」 ショートトーク・ディスカッション1 ◆島谷 幸宏 <九州大学大学院工学研究院 教授> 「多自然型川づくりを核とした主体形成と脱温暖化」 ◆桑子 敏雄 <東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授> 「地域主体形成における「佐渡島加茂湖水系再生研究所」の役割」 ◆原田 淳志 <総務省地域政策課長・緑の分権改革推進室長> 「地域主権と緑の分権改革」 ショートトーク・ディスカッション2 ◆吉本 哲郎 <地元学ネットワーク主宰> 「弥栄における地元学の生成を見て」 ◆梅原 真 <梅原デザイン事務所> 「マイナス1×マイナス1=プラス1」 ◆田中 優 <一般社団法人天然住宅> 「地域に力を呼び戻す地域金融」 全体討論 進行: 堀尾 正毅 <領域総括・東京農工大学名誉教授> パネリスト: 講演者、領域アドバイザー
	17:50~18:00	閉会挨拶 堀尾 正毅 <領域総括・東京農工大学名誉教授>



- アクセス
ベルサール西新宿 1F Hall (東京都新宿区西新宿4-15-3 住友不動産西新宿ビル3号館)
「都庁前駅」A5出口 徒歩4分(大江戸線)
「西新宿五丁目駅」A2出口 徒歩6分(大江戸線)
「西新宿駅」2番出口 徒歩12分(丸の内線)
「新宿駅」西口 徒歩15分(JR線・小田急線・京王線)

- お問い合わせ
(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域 事務局
TEL: 03-5214-0132 FAX: 03-5214-0140
E-mail: r-env2@ristex.jp